

# 市の基本方針

## 上下水道事業の経営健全化

上下水道事業の経営の合理化と市民サービスの向上を図るため、水道局と下水道局を一つの局とするという効率化推進計画を策定し、労働組合と交渉中と聞く。将来を見据えた黒字経営での効率化は英断であり、計画をまとめて推進する必要がある。市長の考えを聞きたい。

## 市政運営について

世界に誇る歴史都市京都の景観破壊を進行する深刻な事態であり、これに最も大きな影響を与えてきたのが財界主導の京都開発にほかならない。今なお、南都開発を中心に京都財界の提言が繰り返されている。今後、財界主導の市政運営を続けるのか。

## 戦略的予算編成システム

戦略的予算編成システムを成功させるためには、市職員の意識改革が必要になってくる。職員がこれまでと同じ意識でこのシステムは単に市民サービスの低下につながるだけだ。慣例や書類にとらわれず、知恵と工夫で、小さな予算の中で大きな効果を上げるよう、本誌と本音で業務を遂行してほしい。

## 市政改革大綱のバージョンアップ

市政改革大綱は取組期間5年の3年目としてはかなりの進捗がよく図れているが、16年度以降には効果の伸びの鈍化が予測され、一層の取組強化、バージョンアップが検討されている。その具体的な内容について聞きたい。

## 市民サービスと組織の在り方

今後、地方自治体が住民から選ばれる、自治体大競争時代がやってくる予感される。財政事情が大変厳しい現状において、市民から選ばれるサービスの在り方、それを裏付ける組織の在り方をどう考えるのか。

## 耐震補強工事への補助制度の実現

京都はいつ大地震が起きてもおおしくなく、木造住宅も多いため、耐震強化を図ることが緊急課題だ。市は、耐震改修と建替融資制度を推奨してきたが、少ない収入の人々にとって利用できない。耐震助成制度を実現するべきではないか。

## イマシカ跡地の活用

右京ふれあい文化会館の向かいにある土地の活用について、スポーツ公園や災害時の緊急避難地としての利用を求められている。限られた財源の中で、市民需要を見極める一方で、効果的な土地利用、財政支出が求められており、この要望は時を得たものである。市長の見解を聞きたい。

## 少人数学級の拡充

15年4月から市独自で、小学校一年生を対象に35人学級を実施した。一学級当たりの子どもの定員が減った所では、子どもも指導が改善、充実された大変喜ばれている。二年生も継続されるのか、その後の学年はどうなるのか、30人学級を目指し、維持、拡大を強く求める。

## 教育改革への取組

教育改革は大きな国民課題である。本市の教育は、市長のリーダーシップの下、先進的な改革が力強く進められ、大きな成果を挙げ高い評価を得ている。市長就任以来の成果を踏まえ、教育先進都市の一層の推進に向けた今後の総括と今後の決意を示してほしい。

## 不登校生徒学習支援特区

市は国の構造改革特区に中学校の創設を目指す特区を申請したが、この取組の詳細、認可時期の増設について聞きたい。

## 携帯電話等の使い方に対する取組

青少年の健全な育成、京都らしい教育を目指すべきだが、携帯電話やテレビゲーム等が子どもに及ぼしている影響について、非常に危機感を感じている。子どもも個性が失われ、表情も根幹は同じ。親子双方とも、携帯電話の使い方について教育する必要がある。思い切った取組をするべきだと思ふが、どうか。

## 意見書

11月定例会では、意見書3件を可決し、審査結果は4面参照。これらの意見書は、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。

# 本会議の代表質問から

11月20・21日の本会議では10人の議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって市長や関係理事者に質問を行いました。本号では、その主なものをお伝えします。

(自民党=自由民主党京都市議員団、共産党=日本共産党京都市議員団、民主・都=民主・都みらい京都市議員団、公明党=公明党京都市議員団)



小学校1年生の35人学級での指導

15年4月から市独自で、小学校一年生を対象に35人学級を実施した。一学級当たりの子どもの定員が減った所では、子どもも指導が改善、充実された大変喜ばれている。二年生も継続されるのか、その後の学年はどうなるのか、30人学級を目指し、維持、拡大を強く求める。

教育改革は大きな国民課題である。本市の教育は、市長のリーダーシップの下、先進的な改革が力強く進められ、大きな成果を挙げ高い評価を得ている。市長就任以来の成果を踏まえ、教育先進都市の一層の推進に向けた今後の総括と今後の決意を示してほしい。



教育相談総合センター(こどもバトナ)

市は国の構造改革特区に中学校の創設を目指す特区を申請したが、この取組の詳細、認可時期の増設について聞きたい。

青少年の健全な育成、京都らしい教育を目指すべきだが、携帯電話やテレビゲーム等が子どもに及ぼしている影響について、非常に危機感を感じている。子どもも個性が失われ、表情も根幹は同じ。親子双方とも、携帯電話の使い方について教育する必要がある。思い切った取組をするべきだと思ふが、どうか。

## 総合評価落札方式の導入

本市は、京都議定書採択の地として環境先進都市を目指している。そこで新たな視点からの環境問題への取組として、公共工事の入札で、企業の環境保全や騒音減しへの取組を入札金額と組み合わせて落札者を決める総合評価落札方式の導入を検討してきた。考えを聞きたい。

## ごみ問題解決に向けた取組

循環型社会推進基本計画案が提案されたが、物がごみとして出される前の上流対策に重点を置いて取り組むことが重要だ。また計画を実効あるものにするための具体的な方策も必要である。ごみ問題の解決に向けた考え方と実現に向けた取組の方向性について、市長の考えを聞きたい。

## 少子化対策について

上流対策に重点を置いたごみ減量の推進は重要な政策であり、その具体化には市民、事業者、行政のパートナーシップに基づく取組や地域の環境意識の高揚、子どもたちの環境教育の充実が不可欠だ。このため、計画の策定と実施に当たり、地域ごみ減量推進会議の活性化や出前講師の派遣、KES、学校版の更なる普及、学校での環境問題の総合学習の支援などに取り組んでいく。

## 同和関連事業に対する認識

特定の市民に特別の扱いを継続することは、市民には到底理解できない。市政の根本にも変わってきている中、今後の積極的な取組を聞きたい。

## そのほかの主な質問

二条駅周辺整備事業の取組状況、国道9号線立体交差事業の右京区区域の中止の要求、伏見桃山城マツスランド跡地の整備計画、外国籍市民の消防団への入団に向けた取組

# 環境保全、保健福祉と人権文化の構築

環境保全、保健福祉と人権文化の構築。これは京都市の重要な課題であり、市民、事業者、行政のパートナーシップによる取組が不可欠である。このため、計画の策定と実施に当たり、地域ごみ減量推進会議の活性化や出前講師の派遣、KES、学校版の更なる普及、学校での環境問題の総合学習の支援などに取り組んでいく。

少子化対策について。上流対策に重点を置いたごみ減量の推進は重要な政策であり、その具体化には市民、事業者、行政のパートナーシップに基づく取組や地域の環境意識の高揚、子どもたちの環境教育の充実が不可欠である。このため、計画の策定と実施に当たり、地域ごみ減量推進会議の活性化や出前講師の派遣、KES、学校版の更なる普及、学校での環境問題の総合学習の支援などに取り組んでいく。

同和関連事業に対する認識。特定の市民に特別の扱いを継続することは、市民には到底理解できない。市政の根本にも変わってきている中、今後の積極的な取組を聞きたい。

そのほかの主な質問。二条駅周辺整備事業の取組状況、国道9号線立体交差事業の右京区区域の中止の要求、伏見桃山城マツスランド跡地の整備計画、外国籍市民の消防団への入団に向けた取組

意見書。11月定例会では、意見書3件を可決し、審査結果は4面参照。これらの意見書は、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。

意見書。11月定例会では、意見書3件を可決し、審査結果は4面参照。これらの意見書は、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。

意見書。11月定例会では、意見書3件を可決し、審査結果は4面参照。これらの意見書は、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。